

オオジシギ繁殖期の生息状況調査 アンケート調査票

公益財団法人日本野鳥の会では、2016年度より、オオジシギの保全を目指してオオジシギ保護調査プロジェクトを開始しました。その一環として、本州以南の繁殖期の生息状況についての情報を収集しています。つきましては、貴支部が普段活動されている範囲内における繁殖期のオオジシギの生息状況についてのアンケートにお答えいただきたく、お願い申し上げます。

オオジシギ保護調査プロジェクトチーム一同

※ご記入いただいた個人情報、本調査以外の目的には使用しません。

※ご記入いただいた生息地情報は取りまとめた集計データとして公表し、生息地の名称は公表しません。

※調査結果は報告書などの形で各支部に還元いたします。

※このアンケートはこれまでオオジシギの生息が確認されていない地域、また、支部報やその他資料を通し情報をいただいている支部にも改めて記入をお願いしております。

★★返送は8月31日までをお願いいたします。★★

■お答えいただいた方についてお教えてください

お名前 田尻 浩伸

所属支部 保全PJ推進室

ご連絡先（ご住所、お電話番号、メールアドレスなど） oojishigi@wbsj.org

【ここよりアンケートの質問になります】

(1) これまでの20年間（1998-2017年）に、オオジシギのディスプレイフライトが観察されましたか？ 当てはまるものに○をお書きください。

1. ある ⇒ (2) へ

2. ない ⇒ アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

自由回答欄

(2) 過去 20 年間に、ディスプレイフライトが観察されたのはどこですか？ 観察地の名称（固有の湿地名など）または市町村名をお書きください（複数回答可）。

五反田湿原、大崎湿地 もしくは 品川区

(3) 過去 20 年間では、最大で同時に何羽くらいが観察されましたか。およそで結構ですので、当てはまるものに○をお付けください（前問で複数の観察地名または市町村名をあげていただいた場合は、カッコの中に該当する地名または市町村名をお書きください）。

- ・ 1～5羽 (五反田湿原)
- ・ 6～10羽 (大崎湿地)
- ・ それ以上 ()

(4) 過去 20 年間で、ディスプレイフライトする個体数に変化はありましたか。ありませんでしたか。当てはまるものに○をお付けください（問（2）で複数の観察地名または市町村名をあげていただいた場合は、カッコの中に該当する地名をお書きください）。

- ・ 増加 ()
- ・ 変化なし (五反田湿原)
- ・ 減少 ()
- ・ 消失 (大崎湿地)

自由回答欄

大崎湿地では 5 年前（2012 年）を最後にオオジシギのディスプレイフライトは観察されていない。五反田湿原では、毎年 3 羽前後のディスプレイフライトが見られる。

(5) 個体数が変化した理由として考えられることがあれば、お書きください。

大崎湿地は周辺の開発等によって環境が悪化したので減少した可能性がある。五反田湿地は国指定鳥獣保護区となっており、近年は環境の変化は起こっていない。

(6) お答えいただいた観察地または市町村のオオジシギの繁殖期を中心とした生息状況についての資料をご存知でしたら、書名、著者名、発行年などの情報をお寄せください。

1. 日本野鳥の会. 2016. 「五反田の野鳥」 日本野鳥の会発行

(7) より詳細な情報をお聞きしたい場合に、対応いただけますか。可、不可に丸をお付けください。対応いただける場合、担当いただける方のお名前、ご連絡先をお教えてください（ご記入いただいた方と同じ方の場合は、「同じ」に丸をつけてください。

・対応 可

⇒対応いただける方のお名前、ご連絡先（ご住所、お電話番号、メールアドレスなど）

同じ

・対応 不可

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。

返送方法：郵送・FAX・メール のいずれかで下記連絡先へ

2017年8月31日まで

■■■本アンケートに関する連絡先・返送先■■■

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

(公財) 日本野鳥の会 保全プロジェクト推進室

担当：オオジシギ保護調査プロジェクトチーム 田尻・竹前

電話： 03-5436-2634

FAX： 03-5436-2635

E-mail： oojishigi@wbsj.org